

「地域のつながり」 自治会活動って何だろう？



ミニSL運行(中1区)

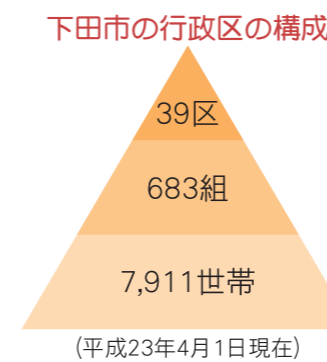
浜清掃(原田区)

地域防災訓練(中1区)

れんげ祭り(大賀区)

かぐら回し(田牛区)

区長会意見交換会



自治会(区)とは？

自治会(区)は、一定の地域に住む人たちが日頃からの親睦と交流を通じて連帯感を深め、地域に共通する様々な課題を協力して解決し、快適なまちづくりを目指して自主的に活動をしている住民自治組織です。現在、市内では39自治会(区)が活動(主な活動内容は下図参照)しており、その加入世帯の割合は市全世帯数の約7割です(行政区の構成は左図参照)。しかし近年、加入世帯は減少傾向であり、このままでは自治会(区)としての機能を維持できない状況になる心配があります。

皆さんは、自治会(区)と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？
3月11日に発生した東日本大震災において、自治会では地域で必要な助け合いが速やかに行われ、日頃からの横のつながりが非常に重要であることが再認識されました。
「地域のつながり」自治会活動とはどういったことなのでしょう？

どこかでお世話になっている…それが自治会(区)の活動

地域の情報伝達 ・広報、かいらんの回付 ・行政とのパイプ役(連絡・要望)	地域の連帯・親睦 ・お祭り、運動会など 地域の親睦 ・各協議会への参画	防災活動 ・防災訓練 ・救命救急講習 ・自主防災組織への参画
住みよい環境づくり ・ごみ置場の管理・清掃 ・地域清掃、美化運動 ・リサイクル品の回収	交通安全・防犯活動 ・通学時の見守り活動 ・交通安全運動	地域環境の整備 ・防犯灯の設置 ・防犯灯の維持・管理 ・集会所の維持・管理

自治会(区)活動の目的

地域住民の親睦と連帯の場

家族が病気になるたときや不幸があったとき、地震や台風などで被害を受けたときなど、「いざ」というときに近所の人たちと助け合えると、きつと心強いと思います。特に高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増えている昨今では、地域の手助けが重要となってきます。これは、将来誰もが抱える問題です。また、共働きの家庭も増えていますが、

子どものことや火災など万一のとき、真つ先に助け合えるのが近所の人たちです。

一方、私たちが暮らしている地域社会には、いろいろな職業・年齢・考え方の人が生活しています。また、個人の生活が尊重され、他人の生活には干渉しないという生活様式が一般化しています。しかし、困ったときは近所の人たちに助けってもらったり、周りの人たちと一緒に楽しむを分かち合ったりしたいという気持ちは誰でも持っていると思います。

日頃から地域の人たちと気軽に付き合い、他人任せでなく、お互いが協力し合って様々な活動に参加して、自分のできることや得意なことを通じ、楽しさや心のふれあいを発見する場が自治会(区)ではないでしょうか。

地域課題の発見と解決の場
 ごみ処理や、防犯・交通安全、青少年の非行防止、道路・公園の環境整備、福祉、防災など地域には様々な課題があります。このような課題は、個人や家庭だけで解決することは難しく、地域の人たちが

◎Interview



下田市区長連絡協議会
会長 土屋 磯雄さん
(須崎区長)

自治会(区)での活動について

自治会(区)活動は多岐にわたります。夏祭り、秋祭りをはじめとして、防災訓練や文化祭、環境美化活動、敬老行事などがあげられます。これらの活動をするのは大変ですが、普段地域で生活するうえで、また地域のコミュニケーションを高めるためにも、重要な活動だと考えています。

自治会(区)で抱える問題について

少子高齢化により地域に若い人が少なくなっていることや独居老人世帯が多くなっていること、また、自治会(区)役員や民生委員・児童委員になる人などの選任も苦労しています。さらに、自治会(区)に加入していない人との関わりも、同じ地域に住む者同士、必要なことだと考えています。

東日本大震災をうけ、自治会(区)のできることは…

この震災で、自治会(区)の重要性が再認識されました。防災訓練など、日頃からの備えをすることは言うまでもありませんが、震災後の復興まで考えるべきではないでしょうか。災害時には、一時的に各行政機関の協力を得られますが、その後は自らの地域で復興をしていかなければなりません。地域を復興させるためには、そこに住む人の力や地域がまとまらないと不可能だと思います。そのために私も自身、普段の自治会(区)活動を大切に、地域が今まで以上にまとまるよう心がけていきたいです。

自治会(区)活動の必要性

自治会(区)は、住民の皆さんが自主的に組織する団体で、加入は皆さんの自主性に任されています。熱心に活動する方もいますし、加入してない方もいますが、それぞれ皆さんの自由です。しかし、一つだけ確かなことは、生活している以上、地域に何らかのかかわりを持っているということだと思います。毎日のように家の前は通りますし、定期的にごみは出します。最近、身近な犯罪が増えて

いますが、町内の見回りや子どもの見守りなど、身近な安心は自治会(区)の人が支えています。ごみのリサイクルステーション管理や街灯の維持管理、道路の清掃、草刈など生活環境の向上も自治会(区)の人が支えているのです。このように、私たちの日常生活の多くは、「知らず知らずのうちに自治会(区)に支えられていく」と言えるのではないのでしょうか。自治会(区)がなくなっても、明日の生活がすぐ困ることにはならないでしょう。しかし、例えば、地震など、災害が起きたときの連携はどうでしょうか。ごみのリサイクルステーションの管理や近所の清掃はどうでしょうか。自治会(区)の代わりに、誰かに頼みますか。自分ですみますか。それとも必要のないことでしょうか。地域の安全や美化は守られず、安心して暮らせない、ごみの散在した不潔な環境になるかもしれません。

自治会(区)は、住民の皆さんが自主的に組織する団体で、加入は皆さんの自主性に任されています。熱心に活動する方もいますし、加入してない方もいますが、それぞれ皆さんの自由です。しかし、一つだけ確かなことは、生活している以上、地域に何らかのかかわりを持っているということだと思います。毎日のように家の前は通りますし、定期的にごみは出します。最近、身近な犯罪が増えて

自治会(区)や下田市区長
連絡協議会に関する問合せ先
総務課秘書広報係

☎22211